

オンライン講座

「多文化共生」を考える研修会 2020

兵庫県には、157か国、約11万6千人の外国人県民が住んでおり、さまざまな場面で接する機会が増えています。文化や言語、生活習慣の違いを認め合い、互いに尊重し合う多文化社会の実現をめざし、今回で20回目を迎える「多文化共生」を考える研修会を下記内容で開催します。多文化共生の魅力や課題など、見て、聞いて、一緒に考えましょう。

第1回 10月29日(木)

【総論】

13:30~13:35 主催者あいさつ

13:35~15:00 「見えない境界線に生きる

～多様性を当たり前にするために～

三木 幸美 ((公財)とよなか国際交流協会職員)

1991年大阪出身。フィリピンと日本のハーフとして被差別部落で生まれ育つ。2009年より大学生ボランティアとしてとよなか国際交流協会に関わり始め、2014年とよなか国際交流協会・大阪市立南小学校で小学校低学年～社会人を対象にしたダンス教室を開講。その他大阪市などで民族学級の講師も務める。若者支援事業コーディネーターを経て2016年度より同協会職員となり、外国にルーツを持つ子ども・若者の活動を支援しながら自身も外国にルーツを持つ者として各地での講演・執筆活動で発信を続けている。

15:15~16:45

「入管法90年改正から30年

—『日系人』受け入れを振り返る』

山口 元一 (弁護士法人あると弁護士)

2020年は1990年に改正入管法が施行され、日系人とその家族が来日を認められるようになってから30年目にあたります。「日系人」の来日はどのように決められたのか、来日した「日系人」を、日本の社会はどのように受け入れたのか、その後の入管政策の変化のなかで、彼らの暮らしはどうなったのか、節目の年に考えます。

第2回 11月1日(日)

【外国にルーツを持つ子どもの教育】

13:30~15:00 「『発達障害』とされる外国人の子どもたち」

金 春喜 (『発達障害』とされる外国人の子どもたち) 著者、
新聞記者)

15:15~16:45 「外国ルーツの子どもと保護者の困りごとへの

対応、神戸市の新しい取り組み」

辻 敏彰 (神戸市教育委員会学校教育課)

第3回 11月5日(木)

【地域における多文化共生の取り組み】

13:30~15:00 「愛知県と豊橋市の多文化共生の取り組み」

杉山 美紀 ((公財)愛知県国際交流協会)

三輪田 貴 (豊橋市民協創部多文化共生・国際課)

15:15~16:45 「外国人住民への新型コロナの影響」

草加 道常 (NGO神戸外国人救援ネット相談員)

第4回 11月8日(日)

【難民・移民支援の現状】

13:30~15:00 「難民支援の現状」

石川 えり (認定NPO法人 難民支援協会代表理事)

15:15~16:45 「地域における多様性理解

～心の距離を縮めるには～

河越 恭子 (三木市国際交流協会)

【参加費】 無料 【申込締切】 10月16日(金)

【申込方法】 <https://forms.gle/6QiNkz6NFGzz5Jxm6> か QRコードにアクセスして、
お申し込みください。

【開催方法】

オンラインZoomを用いて行います。受付後に、Zoomの招待状を送らせていただきます。

【申込・問い合わせ先】

NPO法人 神戸定住外国人支援センター (KFC)
TEL:078-612-2402 E-mail:kensyu2020@social-b.net

1回だけでも
参加できます

各回定員60名

